

令和2年度「災害に強いまちづくり講座」の書面開催について

令和2年度は、令和2年の年明け早々から、世界各地で急速に拡大した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により、社会のあらゆる活動が制約される中、京都市市民防災センターで実施しておりました「災害に強いまちづくり講座」も中止とさせていただきました。

未だ、新型コロナウイルス感染症のまん延が危惧され、日常生活において「三つの密」を徹底的に避ける、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」などの基本的な感染対策を行うことにより、まん延の抑止に努めているところではありますが、一方で、地震などの自然災害の発生が、危惧されているところでもあります。

昨年の災害を振り返りますと、7月に熊本県では記録的豪雨が甚大な被害をもたらし、史上最大級の勢力とされた台風10号は幸い日本への上陸は免れたものの九州や沖縄で被害が広がりました。毎年発生している風水害に加え、国難をもたらすと懸念されている南海トラフ地震への事前対策も重要課題となっております。

これらのことから「災害から命を守る行動」、「自然災害の恐ろしさ」、「災害に対する備えの大切さ」などの重要性を再認識していただくため、今年度は京都大学防災研究所の先生方のご協力を賜り、書面による「災害に強いまちづくり講座」を開催させていただくこととしました。

この度、ご寄稿いただいた『南海トラフ巨大地震や京都周辺の活断層地震が京都市へ及ぼす影響について』（岩田知孝教授）と『あなたは「早めに避難所に避難」できますか？』（竹林洋史准教授）をまとめた講演録にまとめさせて頂きましたのでご高覧いただきたいと存じます。

ご寄稿を賜りました京都大学防災研究所 地震災害研究部門 教授 岩田知孝様、京都大学防災研究所 流域災害研究センター 准教授 竹林洋史様に感謝申し上げますとともに、市民の皆様には、この講演録を通じて防災に関する知識を広めていただき、ご家庭やお住いの地域、また、事業所における防災の取り組みを更に推進していただきますようお願い申し上げます。

令和3年2月

一般財団法人 京都市防災協会

「災害に強いまちづくり講座」（令和3年2月 書面開催）は、京都市市民防災センターのホームページ「講演録」のページからご覧ください。